

給食だより 2017 3月号



だいぶ気温も上がり、春が近づいてきたのを感じる今日この頃ですね。新年度に向けて慌ただしくなってきますが、無理をせずゆっくり過ごしていきましょう。



桃の節句



3月3日は桃の節句（ひな祭り）です。女の子の幸せと健やかな成長を祈るもので、ひな人形を飾ってお祝いします。もともとは人形が身代わりになって邪気を祓うと信じられていたことから、流し雛の儀式が起源となっています。ちらしずし、蛤のお吸い物等は、ひな祭りのお祝い膳です。長崎では「桃カステラ」を食べる人も多いですね。病院でも桃カステラをお出しします。



桃の節句の起源は、中国の「上巳の日（3月3日）に川で身を浄める禊ぎの習慣」であり、これが平安時代に日本に伝わったとされています。後に川に人形を流して厄災を祓う「流し雛



ひな祭りメニューの由来って？

蛤のお吸い物



蛤の貝殻は、対になっている貝殻でなければぴたりと合いません。このことから、仲の良い夫婦を表し、一生一人の人と添い遂げるようにという願いが込められた縁起物です。

ちらし寿司



ちらし寿司そのものにはいわれはありませんが、えび(長生き)、れんこん(見通しがきく)、豆(健康でまめに働ける)など縁起のいい具が祝いの席にふさわしく、三つ葉、卵、人参などの華やかな彩りが食卓に春を呼んでくれるため、ひな祭りの定番メニューとなったようです。

ひなあられ



ピンク、緑、黄、白の4色でそれぞれ四季を表していると言われていています。でんぷんが多く健康に良いことから「1年中娘が幸せに過ごせるように」という願いが込められています。

菱餅



緑、白、ピンク(紅)の3色の餅を菱形に切って重ねたものを飾ります。色の意味には、緑は「健康や長寿」、白は「清浄」、ピンクは「魔除け」を意味するという説などがあります。また、菱形は「心臓」を表していると言われ、災厄を除こうという気持ちや、親が娘の健康を願う気持ち